

令和3年2月3日

発 言 者	発 言 要 旨
矢吹委員	公立高校入学者選抜における新型コロナへの対応はどうか。
高校教育課長	<p>県教育委員会で実施にあたってのガイドラインを定めており、各校では検査会場の消毒や別室受検等の準備をしている。受検日に新型コロナに感染し入院中または自宅等で療養中の場合、特例措置の対象となり、中学校からの調査書などを用いて総合的に判断して選抜する。受検日までにPCR検査の検査結果が判明しない場合は受検不可となるが、同様に特例措置の対象としている。また、濃厚接触者に認定された場合でも、受検日が自宅待機を要請されている期間中で、PCR検査の結果が陰性でかつ受検日当日無症状の場合は別室で受検可能としている。</p> <p>このほか、万が一教職員に感染が確認された場合も想定した交代要員の準備なども含めて、万全を期してまいりたい。</p>
矢吹委員	<p>「山形県公立高等学校入学者選抜方法改善方針案」におけるインフルエンザ等の罹患者等の入学者選抜の対応については、不公平感が生じないよう検討を進めてほしい。</p>
矢吹委員	<p>小中連携や学校と地域との連携状況はどうか。また、高等学校と地域との連携状況はどうか。</p>
義務教育課長	<p>小中連携については、主に中学校の学区単位で既存の会議、例えば校長会や教頭会、教務主任会や、養護教諭部会を活用しながら、小学校6年生に関する情報などを共有している。</p> <p>また、小学校6年生が中学校の実生活を中学生から説明してもらうなど児童生徒の交流を通して、その繋ぎを意識した連携を行っている。</p> <p>学校と地域との連携については、各校の取組みを促進するため、児童生徒が地域の方と交流しながら地域のよさを学んだ成果を発表する「郷土YAMAGATAふるさと探究コンテスト」を開催している。例えば今年度は真室川町の真室川あさひ小学校が地元の伝承野菜の甚五右エ門芋の商品化販売などの取組みを発表して最優秀賞を受賞した。</p>
高校教育課長	<p>高校の例については、小国高校は県内の公立高校では唯一コミュニティスクールを導入しており、小中高の一貫教育という土壌のもとに、地域で高校生を支えてもらっている。その他、産業高校では多くの高校生が地域の取組みに主体的に参加していると捉えている。各高等学校の教育課程と地域の高校へのニーズをうまく合わせて、高校生の学びを育ていきたいと考えている。</p>
菊池（文）委員	<p>今冬は、大雪のため信号機に着雪して視認不良となることがあるのではないか。また、そのような場合の対応はどうか。</p>
参事官（兼）交通企画課長	<p>信号機については、LED化を進めており、従来の信号機と異なり熱を発しないことから着雪しやすいという特徴がある。このため、平成23年度以降、赤色レンズ面には熱線を入れるようにしている。</p> <p>また、各警察署では契約業者に除雪の依頼や警察官が臨場して高所用の</p>

発 言 者	発 言 要 旨
菊池(文)委員	<p>除雪棒により除雪を行っている。 今シーズンにおける信号機の除雪実施状況は降雪の多い米沢、新庄、尾花沢、村山警察署など7警察署において、4日間にわたり業者に点検と除雪を依頼している。</p>
参事官(兼)交通企画課長	<p>白バイの運用状況や訓練状況はどうか。また、女性隊員はいるのか。</p>
参事官(兼)交通企画課長	<p>白バイについては、交通機動隊が冬期間を除き機動パトロール、交通指導取締り、交通事故発生時や犯罪等が発生した際の初動措置などの際に運用している。また、山形県縦断駅伝大会及び山形県女子駅伝大会の先導、更には各種イベントへの参加による交通安全広報も行っている。 また、白バイ乗務員の訓練は、新たに交通機動隊員となった隊員に対して行う「新隊員訓練」、既に配置になっている隊員に対して行う「現隊員訓練」及び全国白バイ安全運転競技大会に向けた「白バイ特別訓練員訓練」がある。</p>
菊池(文)委員	<p>女性隊員については、育児休業中の女性隊員1名を含め2名が配置されており、男性隊員と同様、交通指導取締りや交通広報などに従事している。</p>
菊池(文)委員	<p>全国白バイ安全運転競技大会については、毎年開催され、昨年の大会では団体の上位に新潟県及び福島県が入っている。</p>
参事官(兼)交通企画課長	<p>上位に入れば、隊全体の士気が上がるとともに、交通違反の抑止にも効果が期待できると考えるが、山形県警察の昨年の成績はどうか。</p>
参事官(兼)交通企画課長	<p>全国白バイ安全運転競技大会は、茨城県ひたちなか市所在の自動車安全運転センター中央研修所において毎年10月上旬に開催されている。</p>
菊池(文)委員	<p>令和2年度は、令和2年10月10日及び11日に無観客で開催され、山形県警察の成績は、団体では35位、個人総合では79位と99位であった。</p>
菊池(文)委員	<p>最近、コンビニの店員が電子マネーを購入しようとする特殊詐欺被害者を制止し、感謝状の贈呈を受けたとの記事を目にすることが多くなった。感謝状贈呈の基準はあるのか。また、直近の贈呈件数はどうか。</p>
理事官(兼)警務課長	<p>贈呈基準については、山形県警察で定める「表彰に関する訓令及び運用通達」を根拠としており、例えば、「功労者感謝状は、防犯や交通安全等の関係団体やその役員として長年従事され、警察運営上顕著な功労があった方」などと具体的に定めている。</p>
梅津委員	<p>令和2年中の協力者感謝状については、警察署長から20団体137名に贈呈しており、このうち、ほぼ半数に当たる15団体65名は犯罪被害防止に協力された方である。</p>
梅津委員	<p>近年、多くの金融機関やコンビニの方から特殊詐欺被害の未然防止に協力をいただいております、贈呈数が多くなっています。</p>
梅津委員	<p>令和2年6月定例会において新型コロナの影響による不登校の状況について質問をしたが、直近の状況はどうか。</p>
義務教育課長	<p>学校の臨時休業・再開に伴う心のケアに関する調査を3回実施している。</p>
義務教育課長	<p>直近の調査(令和2年9月1日～令和3年1月15日)において、不登校</p>

発 言 者	発 言 要 旨
高校教育課長	<p>や登校渋りの相談件数は小学校の児童から 246 件、保護者から 900 件、中学校の生徒から 901 件、保護者から 1,287 件あった。</p> <p>令和 2 年 4～12 月末の不登校の生徒数は全日制・定時制合わせて 168 人であり、例年同様に推移している。</p>
梅津委員	<p>新型コロナの影響により、これまで以上に児童生徒の心のケアに取り組むべきと考えるが、スクールカウンセラー等の配置状況はどうか。</p>
義務教育課長	<p>スクールカウンセラー、教育相談員、スクールソーシャルワーカー等を配置し、担任や養護教諭とともに配慮を要する児童生徒へ組織的な対応を行う体制を確保してきた。</p> <p>コロナ禍を受け、スクールカウンセラー等については、年間の勤務日数を 4 週分増加する補正予算を組んで対応している。</p> <p>また、政府の補正予算を活用し、全小中学校に学習指導員の配置を進めたことで、配慮を要する児童生徒に寄り添った個別支援ができるようになっていく。</p>
梅津委員	<p>スクールカウンセラー等が組織的に個別面談等を実施しているとのことだが、その個別面談等は児童生徒に変化が見られる場合にのみ行うのか、それとも定期的に児童生徒全員に対して行っていくのか。</p>
義務教育課長	<p>基本的にスクールソーシャルワーカー、教育相談員については、児童生徒の方から申し込みがあり、面談を行うこととなる。</p> <p>また、教員側から面談が必要な状況と考えられる場合には保護者等々と相談を行いながら、面談を行う体制となっている。</p>
菊池（大）委員	<p>特殊詐欺の手口は、口座に振り込ませる手法だけでなく、電子マネーをだまし取るなど多様になっていると感じるが、最近の特殊詐欺の手口はどうか。また、特殊詐欺防止啓発活動はどうか。</p>
生活安全企画課長	<p>キャッシュカード等をだまし取る「キャッシュカード手交型」や電子マネーを購入させ、その固有の ID 番号を聞き出して被害者に代わって犯人が電子マネーを使用する「電子マネー型」等があり、例として電子マネー型は 3 件で被害額 145 万円である。</p> <p>また、県民への特殊詐欺防止啓発活動については、「やまがた 110 ネットワーク」を活用した迅速かつ簡潔明瞭な注意喚起情報の配信、各世帯に対する「常時留守番電話機能の設定」の働き掛け、視聴覚に訴える広報活動を実施している。引き続き、特殊詐欺の手口を県民に広くお知らせし、被害防止の啓発活動を強化していく。</p>
菊池（大）委員	<p>右折矢印信号機の設置費用はどうか、また、右折矢印信号機の設置計画はどうか。</p>
交通企画課長	<p>まず、右折矢印信号機の設置費用は、十字路交差点の場合、2 方向又は 4 方向に設置することとなり、2 方向であれば約 70 万円、4 方向であれば約 100 万円の費用がかかる。</p> <p>次に、右折矢印信号機の設置計画として令和 2 年度は 6 交差点に設置し</p>

発 言 者	発 言 要 旨
田澤委員	<p>ており、うち5交差点は新設、1交差点は増設である。 3年度は、5基の右折矢印信号機を設置する計画である。</p> <p>東桜学館中学校・高等学校も開校から5年を経過したが、一貫校ならではの特徴的な取り組みやこれまでの成果はどうか。 また、全国の中高一貫校を見ると入学後、数年環境が変わらないことで意欲が低下し学力が落ちていく生徒も見受けられることについてはどうか。</p>
高校改革推進室 長	<p>中高一貫校の特徴である幅広い年齢層の集団での交流活動が行われており、社会性豊かな人間性の育成が図られていると評価している。 学習面としては、6年間の全体的な計画により、特にキャリア教育や探究型学習に積極的に取り組んでおり、深い学びが実践できている。 また、意欲の低下に関しては、特に中学校と高校の接続の時期に、学習意欲の喚起を図るような取り組みをすべきと考えている。</p>
梶原副委員長	<p>新型コロナに対応した卒業式の開催方法はどうか。</p>
義務教育課長	<p>卒業式の実施等については、「山形県における新型コロナ対応の目安」の区分ごとに整理し、改めて各学校に対して示している。この通知の中で、卒業式等の儀式的な行事については、その教育的意義も踏まえながら「3密」回避など感染防止対策を行った上で、適切に実施することとしている。</p>